

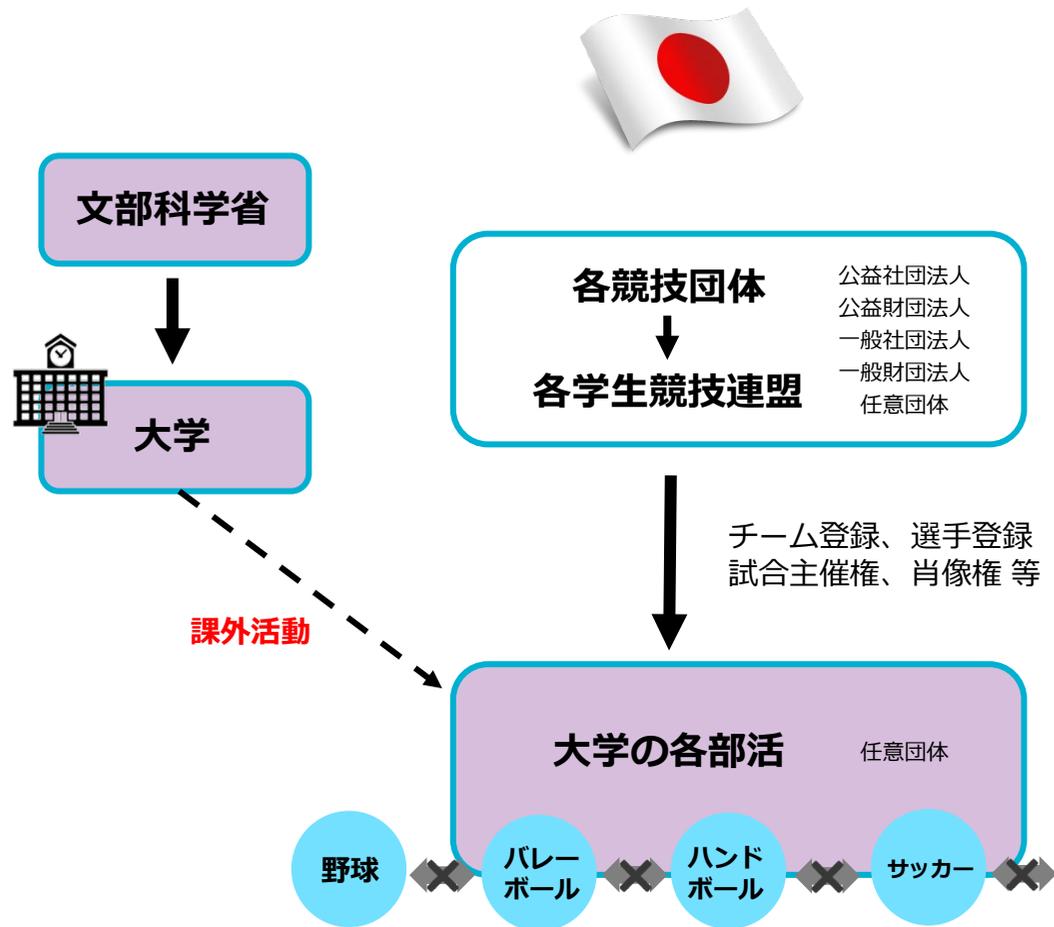
2025年7月3日
15:00～17:00 @スポーツ庁

筑波大学体育スポーツ局の取り組み紹介

DESIGN THE FUTURE, TOGETHER.

～ 大学スポーツの未来を共に創る ～

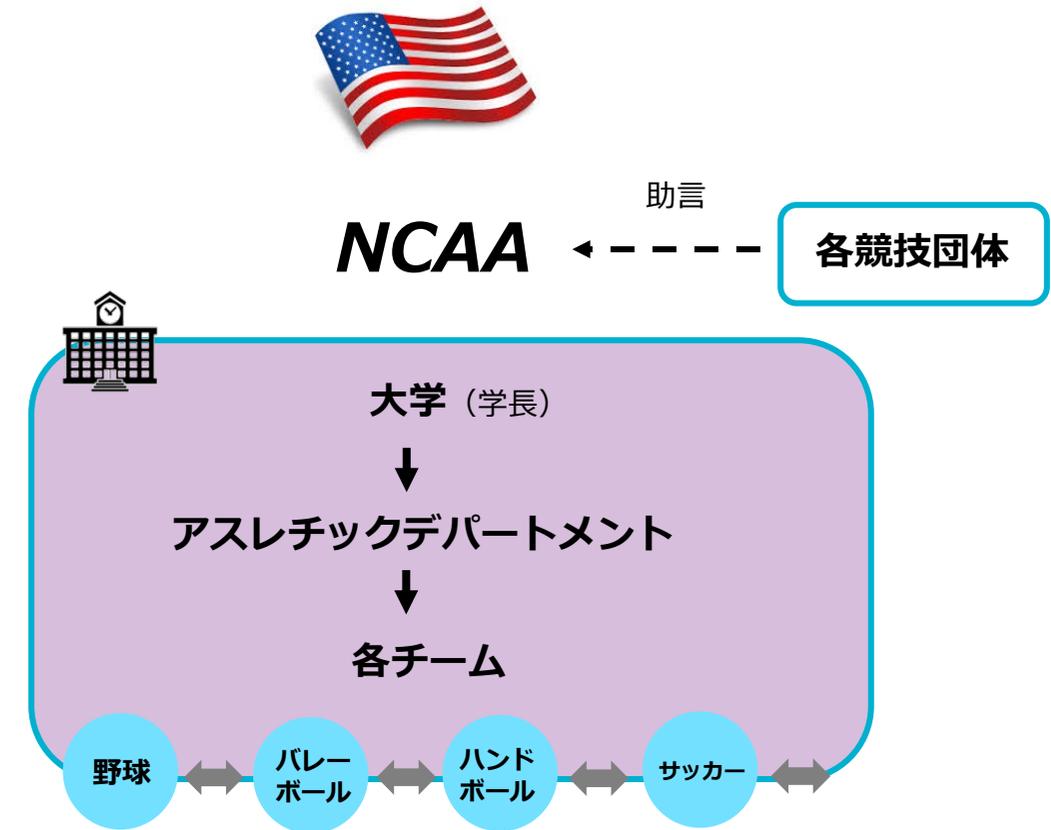
日本における大学体育会チームを取り巻く環境



課外活動であり、学校として**責任を持って支援・監督**ができない
(安全対策、コンプライアンス、会計処理等)

部活動を横断した運営体制の効率化、一体化、価値向上ができない

興行権・放映権・肖像権などの**権利は学連が保持**している



NCAAが大学スポーツ全体を統括している

各大学チームは学長直下のアスレチックデパートメントによって統括され**大学の正式な活動**になっている

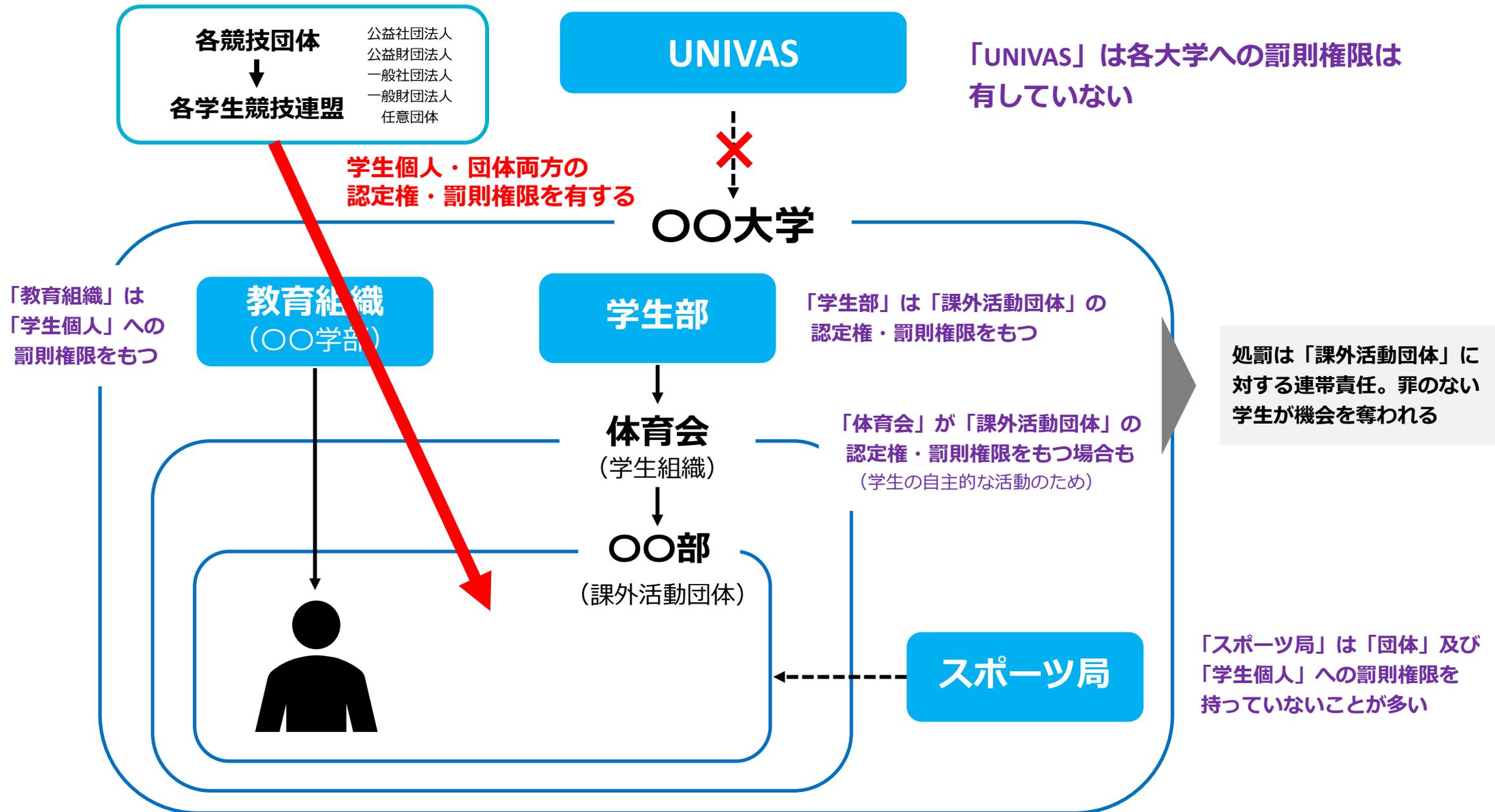
興行権・放映権・肖像権はNCAAが管理し、**各大学に収益を分配**

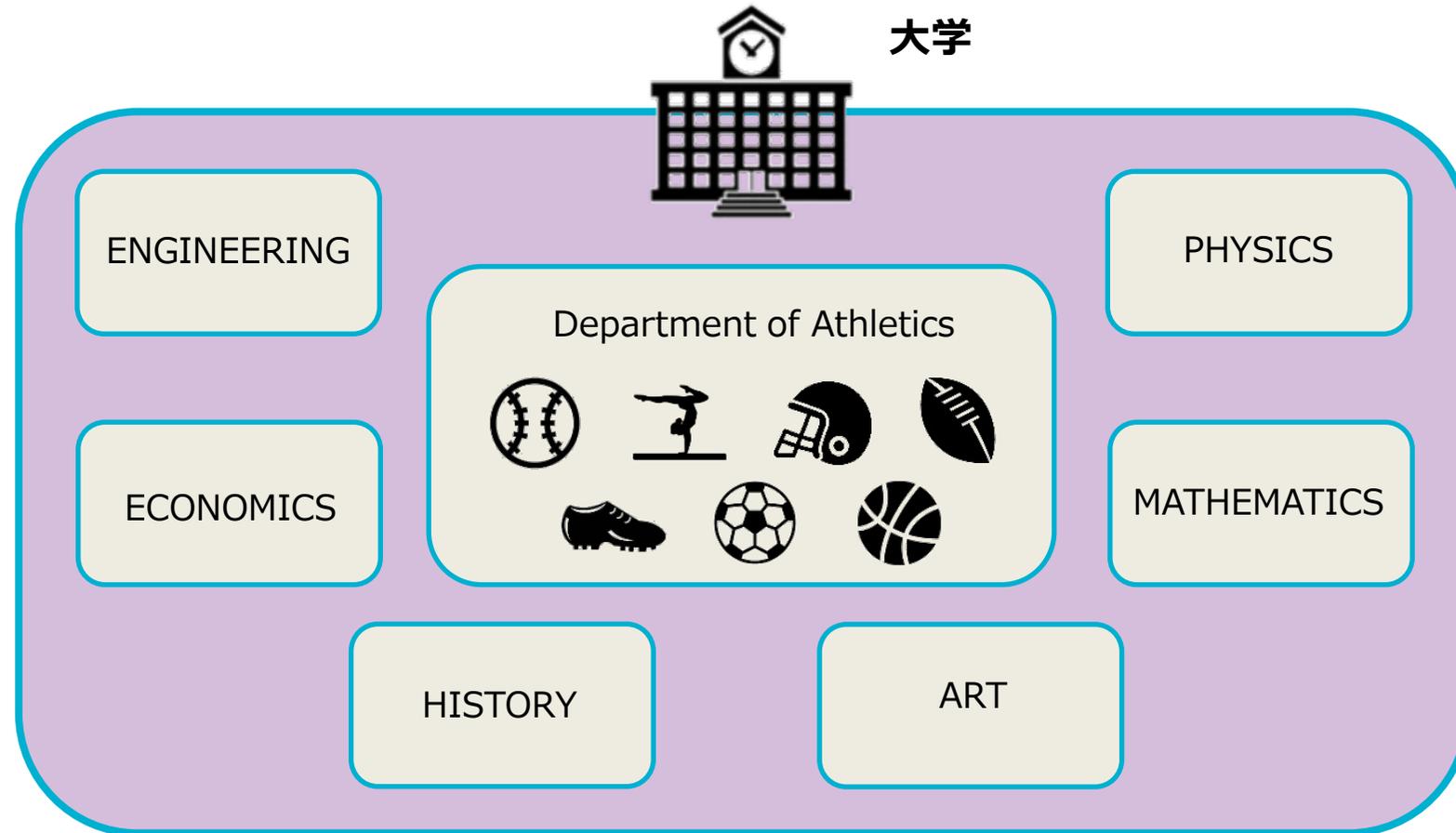
学連は存在せず、競技団体は対象競技のルールに関してNCAAに助言するのみ

日本における大学体育会チームを取り巻く環境

	大学	チーム	競技連盟
役割/目的	教育 研究 社会貢献	日本一 代表選出 就職 等	大会運営 競技普及/発展 社会貢献 等
上部団体	文部科学省	競技連盟 <small>練習施設に関してだけ 大学</small>	中央競技団体(NF)
財源	授業料/受験料 運営費交付金 等	部費・OB会費 <small>(一部)大学から 強化費 等</small>	チーム加盟費 チケット/放映権 等
競技に関わる権利	×	×	主催権、放映権 マーケティング権利 肖像権 など全て

日本の大学におけるガバナンス体制の例





<NCAAの目的>

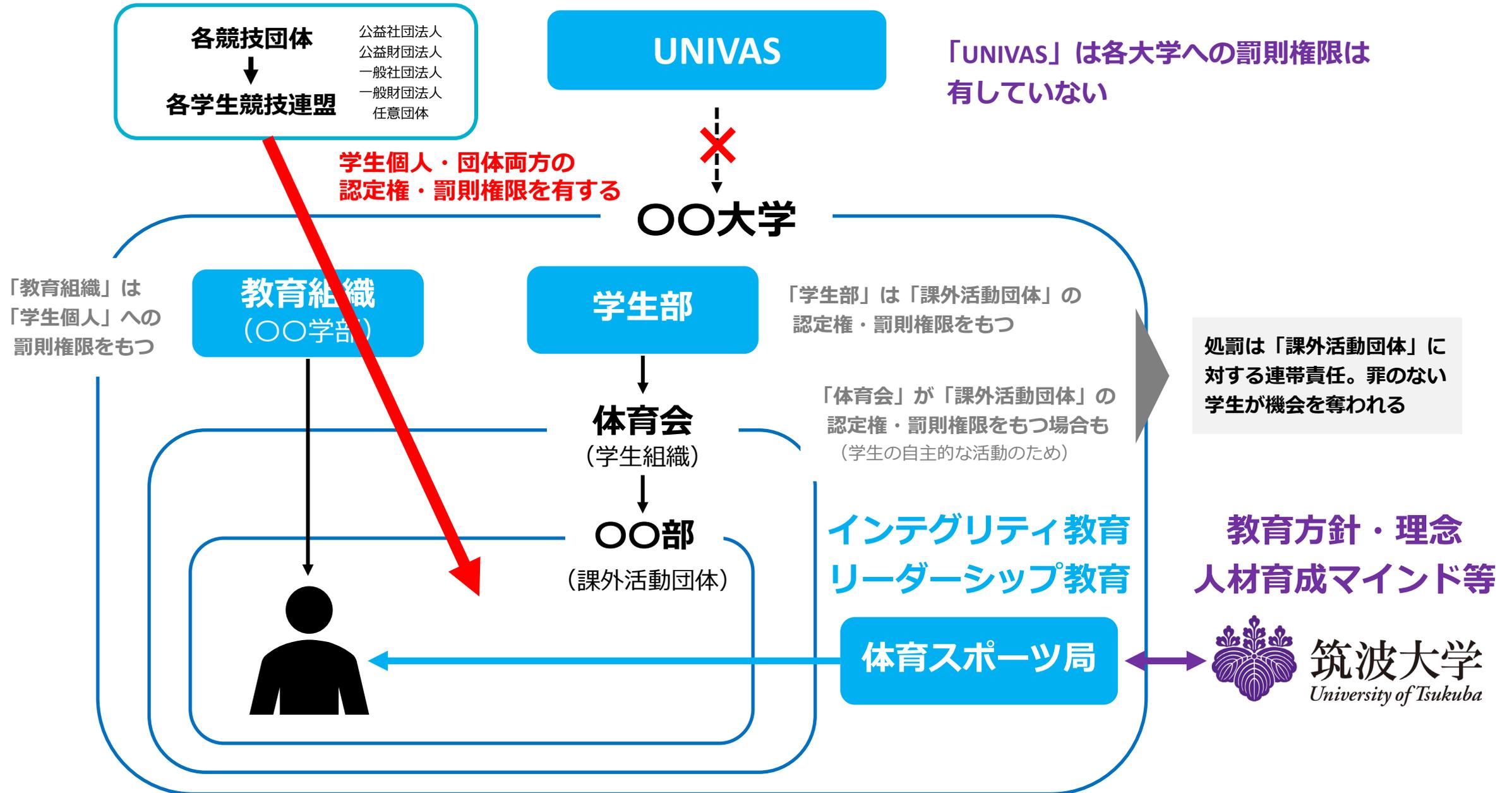
メンバー校のスポーツプログラムは、

大学の教育システムの一環とさせる事。

大学スポーツは、教育の一部であり、競技者はその大学の学生代表である事。

(www.ncaa.com)

筑波大学体育スポーツ局におけるガバナンス体制



カテゴリーⅢ

カテゴリーⅡ

カテゴリーⅠ

体育スポーツ局支援対象
 ※教育的活動の推進

ハイパフォーマンスを探求できる体制
 (トップアスリート・エキスパートの育成を目指した
 研究組織・教育組織や競技団体との連携)

学生の学びと成長を促進する体制
 (教員の関与による学生アスリートと学生スタッフの広く、深い学びの場の提供)

健全な活動を保証する体制
 (すべての学生が安心して、また安全に大学スポーツに打ちこめる環境の整備)

学生部管轄
 (すべての学生団体)

2017年8月30日 NCAA Mark Emmert 会長からのメッセージ



NCAAが繁栄し続けている秘訣は、NCAAが物事を決断したり、判断を下すのではなく、**大学のリーダー(学長)が意志やビジョンを持ち、各大学でのスポーツの位置付けや、あり方を決定し、それに関する大学のリーダーのコントロール権を奪わなかった**ところにあります。

(参考)大学の意志の集合体 = NCAA

各大学



NCAAは3つのコアバリュー
(Academics, Well-being, Fairness)
に対して徹底的にルールを作り、
自主的かつ自律的に運営

ガバナンス体制としては、
3つの組織が蜜に連携。
重要な事項は大学関係者の意志
(委員会)で決定する

大学間の集まり
(カンファレンス)



メンバー大学数：約1,100



NCAA所属カンファレンス数：99